

“西東京市の宝” 史跡下野谷遺跡したのやでまちを元気に！  
 ～縄文から未来へ したのやから世界へ～

## 1 下野谷遺跡とは

西東京市東伏見には、縄文文化が最も大きく花開いた縄文時代中期（今から約 4～5 千年前）の大集落跡「下野谷遺跡」があり、平成 27 年 3 月に国史跡として指定されています。

西東京市では、国史跡下野谷遺跡を『都心に最も近い縄文探訪エリア』として位置付け、確実に保護していくとともに、多くの方々から愛され、また人の流れや活気を生み出す地域資源として活用することを目指しています。

## 2 平成 31 年度の主な事業 予算額 294,202 千円

### (1) 史跡の整備 ～みんなでつくる、つなげる都市部の縄文空間～

本年 3 月には、史跡下野谷遺跡整備基本計画の策定を予定しています。平成 31 年度は、史跡の価値や魅力をわかりやすく伝えるとともに、縄文文化やその知恵を体験・体感・体得できるような史跡整備のための実施設計や、史跡周辺の環境整備を実施します。



【史跡整備イメージ（エントランス付近）】



【史跡整備のイメージ】

### (2) 国史跡指定地の公有地化の推進

首都圏において良好な遺存状態である下野谷遺跡を確実に保存管理し、適切な公開活用を図るため、国史跡指定地の公有地化を推進します。

### (3) 下野谷遺跡活用事業の実施

市の貴重な文化遺産として、市民との協働によって遺跡の活用事業を展開し、多くの方々から愛される史跡を目指しています。VR（バーチャル・リアリティ）コンテンツの学校やイベント等での活用や、周辺地域の商店等が開発した下野谷遺跡をモチーフとした商品の PR などにより、本市の歴史や魅力を再認識する取組を進めます。



【VR 下野谷縄文ミュージアム】

【問い合わせ先】 教育部 社会教育課（TEL：042-438-4079）

## 資料のポイント

○下野谷遺跡を保存・活用していくため、地域の皆様と共に、活用事業を実施しています。



【縄文の森の秋まつり（火おこし体験）】



【縄文モニュメント（東伏見駅前）】



【地元商店による関連商品の開発】



【学校教育現場でのVR活用】



【特別展示会（東伏見ふれあいプラザ）】



【地元スポーツクラブ考案の「したのや縄文体操」】

### ○ご存知ですか？「VR下野谷縄文ミュージアム」

当時のムラの中にあるようなVR（バーチャル・リアリティ）映像や、縄文時代のくらしの解説・クイズなどにより、「下野谷遺跡」の価値と魅力をわかりやすく伝えるデジタルコンテンツです。スマートフォン用アプリの無料配信も行っています。

「VR 下野谷縄文ゲート」  
ここからアプリを  
ダウンロード



【CG 画像（VR 下野谷縄文ミュージアムより）】